

議 会 改 革 推 進 会 議（1/24 概要）

日 時	平成31年 1月24日（木）	午前10時00分～午前11時15分
場 所	飯田市役所 第1委員会室	
出席者	後藤荘一委員長、木下徳康副委員長、清水優一郎委員、小林真一委員、 福澤克憲委員、山崎昌伸委員、福沢 清委員、吉川秋利委員	
事務局	北原事務局次長、筒井庶務係長	

【会議の要点】

○協議事項等

1 議会改革・運営ビジョンの状況確認について

- ・ 昨年議員研修（H30年 大森彌先生）にあわせて委員会で整理した「議会改革・運営ビジョンの状況」をベースとし、平成31年1月現在の進捗状況を確認した。
- ・ 委員から記入内容や表の枠線についての修正意見があり、次回の委員会までに正副委員長が修正したものをメールで添付することとした。

◆主な意見：

- ・ 議員間自由討議の実施状況を追記されたい（社会文教）。
- ・ 「議会報告会の名称検討」を検討中として新たに追加されたい（広報広聴）。
- ・ 議会だよりのリニューアル（パイロット版）を追記されたい（広報広聴）。
- ・ 「予算決算審査のやり方検討」を検討中として新たに追加されたい（予算決算PJ）。
- ・ 表の太枠について、実際に規則や要綱を定めた時期とそれ以降の実施中の時期がわかるように修正されたい。

2 市議会の ICT 活用（タブレット端末）の検討について

- ・ 前回委員会の振り返りを行い、論点整理のために正副委員長案として資料が配布された。
- ・ 委員間の意見交換では、今後の検討課題について必要となる視点が出された。
- ・ タブレット端末の導入に向けて検討を進めることに関しては、賛成意見が多く、反対の立場の意見は出されなかった。
- ・ 現任期内でタブレット端末導入の結論を出すことは難しいため、委員長から次期委員会へ検討の継続を申し送りしたいとの提案がされた。
- ・ 「今後は議会全体の合意を得ながら検討を進めて行く必要がある」との意見が出され、今回の論点を基に、委員外の議員へ状況を共有するための資料を正副委員長が次回に提案することとなった。

◆主な意見：

- ・ タブレット端末導入の目的として、市議会の役割を最大化するために ICT を活用していく（タブレットを導入する）という考えは大事であり、積極的に推進していくべき。
- ・ 危機管理も含めて考えると、市役所に置いてあるものでなく、議員個人が持ち歩くことが必要。タブレットには様々な資料が入るので、議会の図書館を持ち歩くという発想が重要。
- ・ 他の議会では導入を断念したところもあると聞いたので、何が課題であったのかを調べることも必要では。
- ・ タブレットの費用に関して、他の議会では政務活動費の一部を充てているところもある。議員報酬の減額措置がなくなった状況も含めて、検討する必要があるのでは。
- ・ 論点の一つとしてセキュリティがある。
- ・ 現時点の方向性を会派へ持ち帰るなどして、全議員で共有し確認する必要がある。